

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 東美濃歴史街道観光振興事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 観光資源活用課 観光コンテンツ係

電話番号：058-272-1111(内3934)

E-mail : c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 5,560 千円 (前年度予算額： 7,500 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	7,500	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,560	0	0	0	0	0	0	0
決定額								

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

平成29年7月に、リニア中央新幹線開業を見据えて、県とリニア沿線7市町の行政・観光団体により、広域観光推進組織「東美濃歴史街道協議会」が発足した。

本協議会において、東美濃エリアの広域的な周遊滞在、観光消費額のさらなる増加を図るため、広域周遊事業、特産品振興事業、情報発信・プロモーション事業等を実施する。

(2) 事業内容

東美濃観光歴史街道協議会負担金

(3) 県負担・補助率の考え方

令和4年度分から、県：市町=1：1となるように負担率の見直しを行った。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	285	職員旅費
消耗品費	50	事務費
役務費	25	事務費
負担金	5, 200	協議会負担金
合計	5, 560	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (2) 次世代を見据えた産業の振興
 - ④ 世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり
 - ⑤ 産業を支える広域ネットワーク・インフラの整備
- ・岐阜県経済・雇用再生戦略
 - 6 世界に選ばれる持続可能な観光地域づくりプロジェクト
 - (1) 地域資源の保全・活用による観光地域づくり
- ・第2次 岐阜県リニア中央新幹線活用戦略
 - IV 重点的に展開する施策
 - 1 観光振興・まちづくり戦略
 - (2) 東美濃地域内の観光資源の更なる掘り起こし、磨き上げ

(2) 事業主体及びその妥当性

県及び関係 7 市町が連携して広域的な観光振興に取り組むため実施することが妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「東美濃歴史街道」エリアにおいて、観光入込客、宿泊客を増やし、観光消費額の増大を図る。

- 観光消費拡大につながる質の高い観光資源づくり
- 主要観光地の魅力を活かした観光誘客プロモーション
- 世界に選ばれる観光地づくり

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		4,013億円	3,300億円	3,450億円	3,600億円	111.5%
②観光入込客数 (実数)		4,470万人	4,900万人	5,100万人	5,300万人	84.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	○取組内容 首都圏における東美濃地域の認知度等の調査を実施した。 ・実地調査 回答数313 ・インターネット調査 回答数1,400
	○成果 令和5年度以降の事業実施にあたっての基礎資料となるデータを収集した。
令和5年度	指標① 目標：2,400億円 実績：2,702億円 達成率：112.6%
	○取組内容 県と東美濃7市町で構成する東美濃歴史街道協議会において、首都圏での物産販売を通じたプロモーションや五平餅・美濃焼を活用したプロモーションイベント、インスタグラムを活用したフォトキャンペーン等を実施した。 ○成果 リニア中央新幹線開業後にアクセス性が向上する首都圏における東美濃の認知向上や、五平餅、美濃焼をはじめとする地域資源の魅力発信や周遊観光の促進による消費額向上に寄与した。
	指標① 目標：2,900億円 実績：3,044億円 達成率：105%

令 和 6 年 度	○取組内容 県と東美濃7市町で構成する東美濃歴史街道協議会において、首都圏での物産販売を通じたプロモーションやメディア交流会の開催、インスタグラムや海外メディアの配信ネットワークを活用した情報発信等を実施した。
	○成果 首都圏における東美濃の認知向上や、海外に向けた東美濃中山道や美濃焼をはじめとする地域資源の魅力発信等により周遊観光の促進と消費額向上に寄与した。
	指標① 目標：3,100億円 実績：4,013億円 達成率：129.5%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	リニア開業を見据えた7市町沿線の広域連携事業のモデルの取組みであり、県が主体的に進める必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2 「東美濃観光基礎調査」やイベント時のアンケート調査により、首都圏における東美濃地域や観光資源の認知度等を把握し、協議会事業の効率的な実施につなげることができた。	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	7市町の行政・観光協会の協力を得て事業を実施している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

本事業の成果を継続的に実施できる体制づくり

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

基礎調査やイベント時のアンケート調査の結果を活用し、観光資源の磨き上げやターゲットを明確にしたプロモーション、周遊促進企画を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	中山道を活用した周遊滞在促進事業費 【観光資源活用課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	中山道のみならず、リニア岐阜県駅を中心とした、県内周遊滞在観光の推進を図る。